

単元名: 交流校の生徒がやって来る!

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	人とのつきあい	言語レベル	2	必要時間数	12時間

I 単元目標

韓国の交流校からやってくる生徒の歓迎会を企画、事前準備から当日の司会進行まで全て行うことができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> ◆パーティー会場の案内表示を作成することができる。【2-新】 ◆パーティーの司会をすることができる。【2-7】 ◆贈り物を渡す際に適切な表現ができる。【2-4】 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歓迎を表現する方法について日韓の特徴を調べ、韓国からの学生に喜んでもらえるよう配慮しながら会の準備をすすめることができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歓迎パーティーの企画、運営することができる。(協働) ◆パーティーの様子を記録した動画や静止画をPPTにまとめ、アフレコをつける。(協働、情報活用) ◆人とのつきあいを円滑にするためには、多言語、多文化を理解する必要があることを認識することができる。(知識理解) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。

<p>コミュニケーション能力指標</p>	<p>【人とのつきあい】</p> <p>1-f. 招いたり招かれたりするときにあわす基本的な表現を、言ったり、聞いて理解したりできる。</p> <p>2-d. 贈り物を渡すときの表現を、言ったり、聞いて理解したりできる。</p> <p>2-g. 人とのつきあいを円滑にできるような表現(ねぎらい、励まし、期待など)を、言ったり、聞いて理解したりできる。</p> <p>オリジナル:</p> <p>a. 人に、食べ物や飲み物を勧めることができる。</p> <p>b. 適切な案内表示をすることができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。</p> <p>数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>
----------------------	---

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価 (総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> ◆各班が必要な韓国語表現を調べて発表する。(情報量、表現の適切さ、発音の正確さ) ◆司会進行の台詞、掲示物、飲食品一覧を作成する。(表現の適切さ、工夫) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歓迎会を実行する。(案内表示が適切か、司会進行ができたか、贈り物をしながら一言スピーチをして喜ばれたか)

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆司会進行や歓迎のことばなどを調べてロールプレイで練習する。【1-f】</p> <p>◆贈り物を手渡すときの渡し方や表現調べてロールプレイで練習する。</p> <p>【2-d】</p> <p>◆食べ物や飲み物の名前、勧める時の表現を調べてロールプレイで練習する。【オシナルa】</p> <p>◆会場案内や座席配置などの表現を調べて、案内表示を作ったり、口頭で案内したりする練習をする。【オシナルb】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> V高校では、韓国の交流校から来た生徒たちを歓迎する会を開くことになった。</p> <p><活動の流れ> 韓国語クラスが司会進行班、贈り物班、装飾班、飲食班、記録班に分かれ、分担して運営する。司会班は会の進行や歓迎の言葉など必要な表現を調べ、ロールプレイで準備し、式次第も韓国語で作成しておく。贈り物班はどんな贈り物が適当か話し合ってから用意し、さらに手渡すときの表現を調べて、ロールプレイで準備しておく。装飾班は会場案内や座席配置などの表現を調べ掲示物を作成し、歓迎の気持ちを表せるような会場設営と装飾をする。飲食班は韓国の高校生に喜ばれたり珍しがったりする食べ物や飲み物を調べて調達し、それらを韓国語でどう言うか一覧表を作って、クラス全員で食べ物や飲み物を勧める表現をロールプレイで練習しておく。記録班は機材の使い方、記録の仕方について話しあって準備し、写真を撮る際の声かけや誘導などのことばを調べて練習しておく。各班が一緒にリハーサルを行なう。 当日、パーティーの様子を動画や静止画で記録して、一人ひとりがパートナーに対する一言お礼をアフレコし、帰国後交流校に送る。交流校の生徒に歓迎会に対する感想を送ってもらうよう依頼する。その感想をクラスで読み、交流校の生徒の考え方や感じ方を知り、今後交流する続ける際の参考にする。</p> <p>ヒント☞ 韓国に交流校がない場合は、日本にいる韓国の高校生や朝鮮学校の生徒と交流する活動を行ってもよい。</p>	
<p><使用教材・教具> 教科書、コンピューター、ビデオ、カメラ、筆記用具や模造紙</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 지금부터 환영파티를 시작하겠습니다. / 안산여고 여러분 쓰루소에 어서오세요! / 먼저 학생회장 인사가 있겠습니다. / 다음에 안산여고 대표 학생 인사가 있겠습니다. / 다음에 선물 교환이에요. / 이것은 우리 쓰루소 학생이 만들었어요. / 잘 받으세요. /그림 과자하고 음료수를 드세요. /그리고 이야기하세요. /안산여고 여러분 정말 즐거웠어요. /감사합니다. /이거 맛있어요. /드세요. /콜라는 어때요? /파티 회장 /화장실 /한국 학생 /일본 학생</p> <p><表現のポイント> —을・를 시작하겠습니다 /—에 어서오세요 /이・가 있겠습니다 /그 다음에 /—았・었어요 /잘 받으세요 /드세요 /이야기하세요 /즐거웠어요 /—은・는 어때요</p>	<p>지금, 환영파티, 여러분, 먼저, 학생회장, 인사, 대표, 선물 교환, 만들다, 그림, 과자, 음료수, 파티 회장, 화장실, 한국, 일본</p>	<p><事象> ◆人の呼び方、誰をどう呼ぶか ◆友達とのつきあい方 ◆友人関係を円満にするための工夫 ◆お祝いやプレゼント ◆歓迎会の仕方 ◆グローバルなつきあい方</p> <p><事象のポイント> ◆スキンスリップのとり方、人との距離感の異同に気づく。 ◆今日、異なる言語や文化背景をもつ人々と円滑な人間関係に築いていくための心構え、コミュニケーションスキルがますます必要になっていきていることを体感する。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
交流校の生徒		情報科